

# 1007年中國帰國者問題交流会

日中友好協会本部・東京で開催

司法解決と政治解決を車の両輪として

- (3) 日本人としての尊厳のもてる  
生活の保障

三月一三日 徳島地裁  
三月二五日 名古屋地裁  
四月一五日 広島地裁  
六月十五日 高知地裁・札幌地裁

おめでとう！  
岡山県文化賞を受賞



会員の立石憲利さんが

た、涙と苦難の記録

「ぼくは内地に

帰りたい」(1994年)

も出版され

ています。

・スッテンゴウ？

立石さんの本で忘れないのが

究で有名な立石憲利さん(68歳)

が、2月19日岡山県文化賞を受け

られました。

立石さんは、岡山民俗学会理事長

として、これまでに7000の話をこえ

る民話をあつめて出版、自らも民話

の語り部として活躍中です。

また、岡山弁九条を広め、戦争の

民話3部作や、奥様のお母さん神

野(かんの)茂子さんが幼児3人をつ

れて北朝鮮から引きあげてこられ

ました。

立石さんの本で忘れないのが

立石憲利さん(68歳)

が、2月19日岡山県文化賞を受け

られました。

立石さんは、岡山民俗学会理事長

として、これまでに7000の話をこえ

る民話をあつめて出版、自らも民話

の語り部として活躍中です。

また、岡山弁九条を広め、戦争の

民話3部作や、奥様のお母さん神

野(かんの)茂子さんが幼児3人をつ

れて北朝鮮から引きあげてこられ

ました。

立石さんの本で忘れないのが

立石憲利さん(68歳)

が、2月19日岡山県文化賞を受け

られました。

立石さんは、岡山民俗学会理事長

として、これまでに7000の話をこえ

る民話をあつめて出版、自らも民話

の語り部として活躍中です。

また、岡山弁九条を広め、戦争の

民話3部作や、奥様のお母さん神

野(かんの)茂子さんが幼児3人をつ

れて北朝鮮から引きあげてこられ

ました。

立石さんの本で忘れないのが

立石憲利さん(68歳)

が、2月19日岡山県文化賞を受け

られました。

立石さんは、岡山民俗学会理事長

として、これまでに7000の話をこえ

る民話をあつめて出版、自らも民話

の語り部として活躍中です。

また、岡山弁九条を広め、戦争の

民話3部作や、奥様のお母さん神

野(かんの)茂子さんが幼児3人をつ

れて北朝鮮から引きあげてこられ

ました。

立石さんの本で忘れないのが

立石憲利さん(68歳)

が、2月19日岡山県文化賞を受け

られました。

立石さんは、岡山民俗学会理事長

として、これまでに7000の話をこえ

る民話をあつめて出版、自らも民話

の語り部として活躍中です。

また、岡山弁九条を広め、戦争の

民話3部作や、奥様のお母さん神

野(かんの)茂子さんが幼児3人をつ

れて北朝鮮から引きあげてこられ

ました。

立石さんの本で忘れないのが

立石憲利さん(68歳)

が、2月19日岡山県文化賞を受け

られました。

立石さんは、岡山民俗学会理事長

として、これまでに7000の話をこえ

る民話をあつめて出版、自らも民話

の語り部として活躍中です。

また、岡山弁九条を広め、戦争の

民話3部作や、奥様のお母さん神

野(かんの)茂子さんが幼児3人をつ

れて北朝鮮から引きあげてこられ

ました。

立石さんの本で忘れないのが

立石憲利さん(68歳)

が、2月19日岡山県文化賞を受け

られました。

立石さんは、岡山民俗学会理事長

として、これまでに7000の話をこえ

る民話をあつめて出版、自らも民話

の語り部として活躍中です。

また、岡山弁九条を広め、戦争の

民話3部作や、奥様のお母さん神

野(かんの)茂子さんが幼児3人をつ

れて北朝鮮から引きあげてこられ

ました。

立石さんの本で忘れないのが

立石憲利さん(68歳)

が、2月19日岡山県文化賞を受け

られました。

立石さんは、岡山民俗学会理事長

として、これまでに7000の話をこえ

る民話をあつめて出版、自らも民話

の語り部として活躍中です。

また、岡山弁九条を広め、戦争の

民話3部作や、奥様のお母さん神

野(かんの)茂子さんが幼児3人をつ

れて北朝鮮から引きあげてこられ

ました。

立石さんの本で忘れないのが

立石憲利さん(68歳)

が、2月19日岡山県文化賞を受け

られました。

立石さんは、岡山民俗学会理事長

として、これまでに7000の話をこえ

る民話をあつめて出版、自らも民話

の語り部として活躍中です。

また、岡山弁九条を広め、戦争の

民話3部作や、奥様のお母さん神

野(かんの)茂子さんが幼児3人をつ

れて北朝鮮から引きあげてこられ

ました。

立石さんの本で忘れないのが

立石憲利さん(68歳)

が、2月19日岡山県文化賞を受け

られました。

立石さんは、岡山民俗学会理事長

として、これまでに7000の話をこえ

る民話をあつめて出版、自らも民話

の語り部として活躍中です。

また、岡山弁九条を広め、戦争の

民話3部作や、奥様のお母さん神

野(かんの)茂子さんが幼児3人をつ

れて北朝鮮から引きあげてこられ

ました。

立石さんの本で忘れないのが

立石憲利さん(68歳)

が、2月19日岡山県文化賞を受け

られました。

立石さんは、岡山民俗学会理事長

として、これまでに7000の話をこえ

る民話をあつめて出版、自らも民話

の語り部として活躍中です。

また、岡山弁九条を広め、戦争の

民話3部作や、奥様のお母さん神

野(かんの)茂子さんが幼児3人をつ

れて北朝鮮から引きあげてこられ

ました。

立石さんの本で忘れないのが

立石憲利さん(68歳)

が、2月19日岡山県文化賞を受け

られました。

立石さんは、岡山民俗学会理事長

として、これまでに7000の話をこえ

る民話をあつめて出版、自らも民話

の語り部として活躍中です。

また、岡山弁九条を広め、戦争の

民話3部作や、奥様のお母さん神

野(かんの)茂子さんが幼児3人をつ

れて北朝鮮から引きあげてこられ

ました。

立石さんの本で忘れないのが

立石憲利さん(68歳)

が、2月19日岡山県文化賞を受け

られました。

立石さんは、岡山民俗学会理事長

として、これまでに7000の話をこえ

る民話をあつめて出版、自らも民話

の語り部として活躍中です。

また、岡山弁九条を広め、戦争の

民話3部作や、奥様のお母さん神

野(かんの)茂子さんが幼児3人をつ

れて北朝鮮から引きあげてこられ

ました。

立石さんの本で忘れないのが

立石憲利さん(68歳)

が、2月19日岡山県文化賞を受け

られました。

立石さんは、岡山民俗学会理事長

として、これまでに7000の話をこえ

る民話をあつめて出版、自らも民話

の語り部として活躍中です。

また、岡山弁九条を広め、戦争の

# 中国建徳市に桜千本を植える

## ボランティア活動

12

杉元 邦太郎

### Ⅺ. 第二回目(750本目)の桜植林

(2004年平成16年11月22日)



鳥鎮の水郷風景

翌一日目、代表が楊軍市長を表敬訪問した(このとき筆者は一本目の書を頂いた)

のち、白砂公園桜花園で植樹のセレモニーが行われた。この日は天気もよく、中国独特的な樂隊(銅鑼や笛・太鼓)の演奏の中、小学生の花飾りの歓迎の輪を通り過ぎてセレモニーが始まった。挨拶などの後、人々今までに植えた友誼林の育ち具合を見て歩いた。

午後は建徳市の「老人ホーム」と「乳児院」を見学した後、同じ敷地にある小学校を訪問した。中国では一人の子政策のあたりを受け、子供

が成人して町から出でてしまうと、取り残された老人は世話をする者がないくなる。また一人の子政策にもかかわらず一人目、三人目が出来ると罰金として高い税金を納めなければならぬ。その結果貧しい家の子供は捨てられてしまう。しかし救いはそれらの施設が町の中心にあり、姥捨て山的な隔離生活を強いられていないことに感じ入ったところであった。

同じ敷地に小学校があり、そこでは小学生たちがバトンタッフルームで習風景や器械体操などをしているところを観て、老人や幼児たちもそれなりに明るい声にはげまされているのではないかと思った。

夜は例によつて市の人民政府主催の歓迎レセプションで暮れていった。今回初めて参加した人たちは、繰り返し行われる乾杯と握手攻めに感激したようである。

翌日からは、今まで何回も中国に来ていながら、全員がまとまるでゆつくりと杭州の街を観ていな

いといふこともあり、杭州と、上海、蘇州を訪ねることに

なった。杭州はそれでも道路沿いは目にしてきていたので、六和塔、西湖などを一周した後、烏珍(杭州→上海)の中間に向かつた。烏珍は水郷地帯で市内に水路を縦横に巡らし、その周辺に古民家が残つてゐる街である。観光客は運河沿いに散策するのであるが、それらの古民家の一軒を覗くと、紺染屋が仕事をしてしたり、別

家の土間では老婆が4人で卓を囲み、マージャンに興じてたりして、生活の匂いがする街であった。昼には田舎料理を食べて上海に向かつた。

上海ではまず黄浦江を遊覧する船に乗り、暮れゆく植民地時代の外灘(ワイタン)植民地時代の英仏の租界であった、石づくりの建物がそのまま残つていて、今はスポーツライトで照らした夜のデートスポットであり、庶民の憩いの場(散策路になつてゐる)を望みながら船中の飲み放題のクルーズである。皆はデッキに上がって夜景を楽しんでいる。

四日目は蘇州夜曲で有名な蘇州を訪ねた。ここも古い町で、寒山寺や拙政園、そして虎丘の斜塔の見学である。ここは山道のため心臓に自信がない筆者は、一人で担ぐ駕籠(婚礼の時花嫁が乗る華やかな駕籠)で麓まで降りてしまふズルをした。夕方上海に帰り、夜は雜伎団のアクロバットを観ながらのディナーショーを楽しんだ。

このとき鄭君(留学生で今は日本の企業に勤めている。第一回目の時、西子賓館に花を贈ってきたのが彼女のお兄さん)一家が訪れてきて、下のカフエでオノザロック(日本でのいつも病)を頼んだ。ウェイターは始めは氷を入れるのを渋っていたが、無理に氷を入れさせたのを飲んだところ、案の定、翌日は下痢である(中国では生水は厳禁ということとは知つていて、杭州と、上海、蘇州を訪ねることに

及ばなかった)。下痢止めのおかげで空港で帰国した。

つづく  
及ばなかった)。下痢止めのおかげで空港で帰国した。

# 本部種目別合宿

がんばりました!

## 広島で太極拳の種目別合宿



今年もにぎやかに春節の会

2月10日から12日まで広島で太極拳の種目別合宿が開催されました。日頃の講習会で練習できない48式、42式太極拳や32式太極剣の種目を3日間で集中して覚える合宿です。

全国から130人の参加がありました。

岡山支部からは9名が参加しました。昨年秋の本部太極拳普及30周年記念表演会に参加し、全国の愛好者と交流する機会を得て講習会全体の練習意欲が盛り上がり、やる気満々で望み

ました。岡山支部の参加者は、48式太極拳と32式太極剣に分かれて練習しました。いずれも今回初挑戦の種目です。例えば48式なら48種類の動作があるということですので、多くの経験者の中で初日は四苦八苦しているようでした。しかし、なんと最終日には見様見真似とほいえ、全員最後まで表演することができました。

どちらの参加者も日頃は習えないとほいえ、全員最後まで表演することができました。

他の府県の指導員に接し目から鱗が取れる体験をし、全国の愛好者との交流も深まり、実り多い合宿になりました。

青木正美

## 第11期受講生募集!

(07年4月~07年9月)

発足から6年4クラスから、昼間入門のクラスを含め8クラスになりました。

受講希望の方には詳しい資料をお送りいたします。どうぞ連絡ください。

電話・090-7542-6139  
澤山まで

次回の新聞発送作業は  
3月12日月午後1時半  
民主会館2階で行います。  
前回お手伝いくださった方です。

小林  
竹  
竹内  
和  
内  
製  
服  
三垣